



第
16
回

海草支部

和歌山市支部

那賀支部

伊都支部

有田支部

紀州さんぽ散珠つなぎ

新宮支部

串本支部

田辺支部

日高支部

— 田辺街中見て歩き・海蔵寺通り —



新海蔵寺通り

今回は江戸時代からの歴史ある通りを紹介しましたが、今回は田辺市の地区計画整備事業により新しく生まれ変わった「海蔵寺通り」を紹介します。

この「通り」も江戸時代から続く海蔵寺の門前町として仏事等に関係する店舗や古くからの町家を中心とした静かな通りとして親しまれてきました。

海蔵寺（谷玄康住職）の歴史は古く、慶長10年（1605）徳川2代將軍の時代に建立されて源平時代の熊野水軍の本尊として軍船に安置され、平家との戦いで勝利に導いたと伝えられる秘仏の弁慶観音像が祀られています。

7月24日・25日の田辺祭りでは笠鉦が通りを巡行し海蔵寺にお参りする行事もあります。

古くからの通りは、車1台がやっと通れるような狭い通りでしたが、車道巾9m、両側に4.5mの歩道がついて総延長260mのひろびろとした通りへと変貌しました。開通してから4ヶ月になりますが、田辺駅からのアクセスもよくなり、車の通行量や人通りも増え、銀座通りへと続く町並みは田辺の中心と呼ぶにふさわしい通りになりました。

地区計画整備事業は平成18年度から平成21年度までの4年計画で行われ、当初の事業計画にあたり、地区の方達が町並みデザインガイドラインを作成し海蔵寺通りにふさわしい街づくりへと委員会をたちあげました。

田辺支部にガイドライン審査員の依頼があり5名が審査員として参加させていただきました。伝統的な建物の特徴を出すように、平入りの連続した建物が町並みを形成し、アースカラーの穏やかな雰囲気の外観を基準色として、海蔵寺の歴史文化を後世に継承していくために門前町としてふさわしい景観を目的として計画は進められました。

3期にわたった事業はガイドラインに沿った街づくりを形成しました。しかし、一部に協調性のない建物が建てられたことが残念です。



海蔵寺全景



秘仏の弁慶観音像（県文化財）

田辺支部 寺岡正和・宮本英士

やま
山ぶどう

海草支部 増田耕造氏